



日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

A large circular collage of nature scenes. It includes a field of white daisies, purple pansies, golden-brown grasses, a mountain landscape with green trees and blue sky, a river flowing through a forest with autumn foliage, and a field of golden wheat under a blue sky.

彩と共に豊かな暮らしへ
日本ピグメント

Interim Business Report

第81期 中間報告書 2016.4.1—2016.9.30

ごあいさつ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、第81期上半期（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の概況をここにご報告申し上げます。

当社は本年6月29日開催の第80回定時株主総会において、定款の変更のご承認を頂き監査役設置会社から監査等委員会設置会社へ移行し、また新たに執行役員制度を導入し新しい体制になりました。当社グループはコーポレートガバナンスの一層の強化とともに、企業価値向上に向け、中期経営計画「Challenge 2020」を目標に邁進してまいります。
株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月



取締役社長 **加藤 龍巳**

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. 色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。
2. グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。
3. 技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。
4. 個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。



第81期上半期の業績

【日本】

国内部門別の概況として

樹脂コンパウンド部門は自動車産業向けエンジニアリングプラスチック(電装コネクタなど)を中心に底堅く推移致しました。

樹脂用着色剤部門は一部の自動車産業向け(バンパー等外装品、インパネ・ドアトリム等内装品など)やトイレタリー関連(シャンプー等のプラスチック容器など)、および家電産業向けフィルム等(フラットパネル・ディスプレイ等のフィルム部材など)にて堅調に推移したことから、想定を上回りました。

加工カラー部門は、一部の自動車産業向け(内装用表皮材など)や建材産業向け(シーリング材、床材など)が比較的堅調に推移し、また、液体分散体(液晶パネルカラーフィルターの部材)が想定以上に堅調であったことから、全体としては想定を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,042百万円(前期比4.4%増)、営業利益は販売構成の変化や経費削減効果もあり209百万円(前期営業損失104百万円)となりました。

【東南アジア】海外子会社3社:シンガポール、マレーシア(2拠点)、インドネシア

東南アジアは、シンガポール、マレーシアにおいてタイ、中国向けの需要が伸び悩むなか、車輛のモデルチェンジや新車投入があった影響で好調なインドネシアが牽引し、全体として想定を上回りました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は樹脂価格の下落や為替の影響もあり7,774百万円(前期比11.0%減)となりましたが、営業利益は163百万円(前期比110.1%増)となりました。

【その他】

その他は、中国での日系自動車関連の受注が伸び悩み、当第2四半期連結累計期間の売上高は319百万円(前期比39.7%減)、営業損失は22百万円(前期営業損失15百万円)となりました。

【全体】

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は20,136百万円(前期比3.2%減)、経常利益は388百万円(前期経常損失39百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は187百万円(前期親会社株主に帰属する四半期純損失62百万円)となりました。



通期の見通し

下期の業績は、国内での販売は引き続き堅調に推移するものと見込まれ、東南アジアでの販売については、為替相場の円高進行により売上高は減少を見込んでおりますが、インドネシアが引き続き好調に推移していることから、当社グループの通期連結業績は次の通り予想しております。



通期の連結業績予想 (2016年10月27日公表)

売上高	40,800百万円
営業利益	800百万円
経常利益	800百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	450百万円
期末配当金(予想)	5円

※期末配当金は2016年5月13日に公表した予想です。

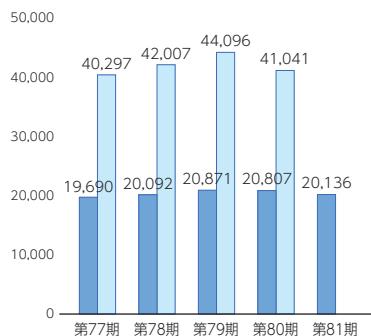
連結財務諸表

●財務ハイライト

国内では比較的高付加価値な樹脂用着色剤が想定を上回ったこと、海外においてはインドネシア国内の需要増により全体として想定を上回る結果となりました。

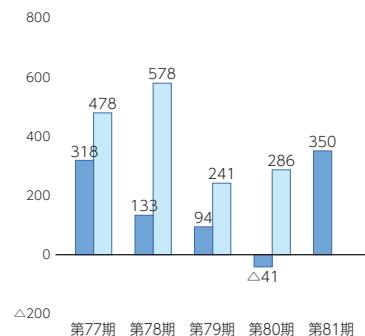
売上高(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



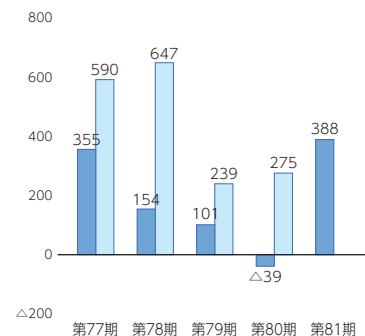
営業利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



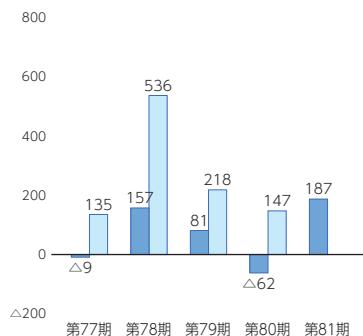
経常利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



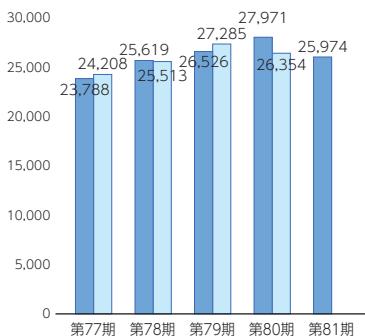
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



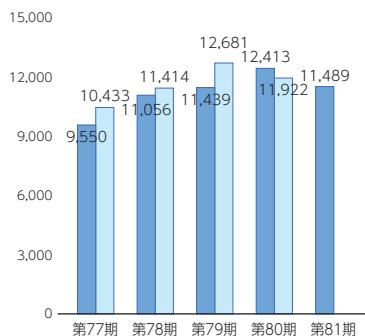
総資産(百万円)

■第2四半期(中間期) □通期



純資産(百万円)

■第2四半期(中間期) □通期



●四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	13,430	13,264
2 固定資産	12,544	13,089
有形固定資産	7,917	8,286
無形固定資産	31	33
投資その他の資産	4,595	4,769
資産合計	25,974	26,354
負債の部		
3 流動負債	11,223	10,738
4 固定負債	3,261	3,693
負債合計	14,485	14,432
純資産の部		
株主資本	10,748	10,638
資本金	1,481	1,481
資本剰余金	1,047	1,047
利益剰余金	8,235	8,126
自己株式	△16	△16
その他の包括利益累計額	△68	367
非支配株主持分	809	916
5 純資産合計	11,489	11,922
負債純資産合計	25,974	26,354

Point.1 流動資産について

流動資産は13,430百万円と前期末の13,264百万円に比べ165百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が267百万円増加し、製品が83百万円、原材料及び貯蔵品が83百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

Point.2 固定資産について

固定資産は12,544百万円と前期末の13,089百万円に比べ545百万円の減少となりました。この主な要因は有形固定資産が368百万円、投資有価証券が153百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

Point.3 流動負債について

負債のうち流動負債は11,223百万円と前期末の10,738百万円に比べ485百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が281百万円、短期借入金が62百万円、未払法人税等が88百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

Point.4 固定負債について

固定負債は3,261百万円と前期末の3,693百万円に比べ432百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が436百万円減少したことなどによるものです。

Point.5 純資産について

純資産合計は11,489百万円と前期末の11,922百万円に比べ432百万円の減少となりました。この主な要因は利益剰余金が109百万円、その他有価証券評価差額金が107百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が581百万円、非支配株主持分が106百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

連結財務諸表

● 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	前第2四半期累計 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
売上高	20,136	20,807
売上原価	18,342	19,346
売上総利益	1,793	1,461
販売費及び一般管理費	1,443	1,503
6 営業利益又は営業損失(△)	350	△41
営業外収益	112	85
営業外費用	74	83
経常利益又は経常損失(△)	388	△39
特別利益	72	0
特別損失	92	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	369	△39
法人税、住民税及び事業税	127	22
法人税等調整額	21	△6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	221	△55
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	187	△62

Point.6 営業利益又は営業損失について

当第2四半期累計期間において営業利益は販売構成の変化や経費削減効果もあり350百万円となりました。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	前第2四半期累計 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
7 営業活動による キャッシュ・フロー	378	294
8 投資活動による キャッシュ・フロー	△40	△103
9 財務活動による キャッシュ・フロー	△258	625
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△99	0
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△20	817
現金及び現金同等物の 期首残高	1,746	2,081
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,726	2,899

Point.7 営業活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の収入は前年同四半期連結累計期間と比べ84百万円増加し、378百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の増加等によるものです。

Point.8 投資活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の支出は前年同四半期連結累計期間と比べ62百万円減少し、40百万円となりました。

Point.9 財務活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は258百万円となりました。前年同四半期連結累計期間は625百万円の増加でした。

会社の概要 (2016年9月30日現在)

●概要

- **会社名** 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)
- **本社所在地** 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
- **代表者** 取締役社長 加藤 龍巳
- **創業** 1925年(大正14年)
- **事業内容** 樹脂コンパウンド……プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤 ……プラスチック着色剤
加工カラー ……塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー……塗料用、印刷インキ用等
- **資本金** 14億8,115万円
- **株式** 東京証券取引所市場第二部上場
- **主要な事業目的**
 1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売
 2. 各種樹脂の加工および販売(樹脂コンパウンド)
 3. 各種着色剤の製造および販売
 4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

●役員ならびに執行役員

取締役社長	社長執行役員	加藤 龍巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
専務取締役	専務執行役員	井手 讓司	経営管理本部・総務部・経理部・品質保証室・ 海外事業管理、法務コンプライアンス統括室担当
取締役	執行役員	平岡 正彦	生産本部長、中国事業担当
取締役	執行役員	今井 信一	総務部・経理部・システム部担当
取締役		三輪 幸一	常勤監査等委員
社外取締役		鈴木 道弘	監査等委員
社外取締役		原田 尚知	監査等委員
上席執行役員		武田 聡	特命担当・品質保証室担当
上席執行役員		宮本 康弘	営業本部長兼営業管理部長
上席執行役員		綾 義弘	開発本部長
執行役員		川原 伸二	購買部長
執行役員		古賀 義隆	営業本部副本部長
執行役員		田中 淳	生産本部副本部長
執行役員		光枝 孝宗	営業本部 樹脂コンパウンド統括部長
執行役員		田代 喜一	経営管理本部長兼経営企画部長
執行役員		至田 順彦	生産本部副本部長兼埼玉川本工場長

●国内拠点・海外拠点

- **本社・営業部門**
 - ・本社・東京支店
 - ・大阪支店
 - ・名古屋支店
- **生産部門**
 - ・埼玉川本工場 (埼玉県)
 - ・大阪工場 (大阪府)
 - ・東京ピグメント(株) (埼玉県)
 - ・ニッピ化成(株) (埼玉県)
 - ・名古屋ピグメント(株) (愛知県)
 - ・大阪ピグメント(株) (奈良県)
- **海外**
 - ・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd. (シンガポール)
 - ・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd. (マレーシア)
[Head Office and Shah Alam Plant]
[Penang Plant]
 - ・P.T.Nippisun Indonesia (インドネシア)
 - ・天津碧美特工程塑料有限公司 (中国)
 - ・NPK Co.,Ltd. (韓国/持分法適用関連会社)
 - ・上海新素材特種聚合物有限公司 (中国/持分法適用関連会社)

株式の概要 (2016年9月30日現在)

●株式の状況

●発行可能株式総数	30,000,000株
●発行済株式総数	15,758,994株
●自己株式数	53,763株
●株主数	2,027名

●大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
日本ピグメント取引先持株会	1,485千株	9.43%
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	780	4.95
株式会社十六銀行	698	4.43
日本化薬株式会社	519	3.30
東京海上日動火災保険株式会社	492	3.13
株式会社資生堂	491	3.12
三井住友信託銀行株式会社 (常任代理人 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	438	2.78
東レ株式会社	358	2.28
長瀬産業株式会社	326	2.07
田中 洋二	300	1.90

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証券コード 4119
- 単元株式数 1,000株
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料
無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<http://www.pigment.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

【株式に関するお手続きについて】

○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
手続用紙の ご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定(*) ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。



日本ピグメント株式会社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808

<http://www.pigment.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しております。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。